

授業科目名 (英文名)	管理会計論 (経営学部・専門科目) (Management Accounting)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	頼 誠	所属	会計研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	本講義の目的は、管理会計、すなわち、経営管理者が意思決定と業績評価のために使用する会計について学ぶことです。到達目標は、管理会計の基礎概念と主要なツール、企業における管理会計情報の利用の仕方がある程度わかるようになることです。管理会計は学際的ですから、おもしろいテーマをみつけてください。幕の内弁当のような講義です。		
講義内容・授業計画	<p>授業計画は、以下のようになります。 順番は入れ替えることがあります。</p> <p>前半</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理会計とは何か 2. 管理会計の体系と歴史 3. 原価概念と原価計算(1) 4. 原価概念と原価計算(2) 5. 原価概念と原価計算(3) 6. 原価概念と原価計算(4) 7. 短期利益計画とCVP分析(1) 8. 短期利益計画とCVP分析(2) 9. 予算管理(1) 10. 予算管理(2) 11. バランスト・スコアカード 12. 責任会計 13. 事業部制会計 14. カンパニー制 15. ミニ・プロフィットセンター 16. 評価(到達度の確認) <p>後半</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原価管理とコスト・マネジメント 2. 原価維持・原価管理・原価企画 3. 戦略的コスト・マネジメント 4. 品質管理と品質原価計算 5. ライフサイクル・コストニング 6. 製品開発のための管理会計(1) 7. 製品開発のための管理会計(2) 8. 製品開発のための管理会計(3) 9. 活動基準原価計算 10. 活動基準原価管理 11. 意思決定のためのコスト情報 12. 戦略的投資計画のための管理会計(1) 13. 戦略的投資計画のための管理会計(2) 14. 全社戦略のための管理会計 15. 事業戦略のための管理会計 16. 評価(到達度の確認) 		
テキスト	浅田孝幸、頼 誠他著『管理会計・入門 第4版』有斐閣。(生協で購入)		
参考文献	参考書は最初の授業で推薦します。また、授業の進行に応じて紹介します。		
成績評価の基準・方法	基本的に定期試験100%で評価する。ショートテストをすることがある。中間試験50%、期末試験50%。中間試験および期末試験の一方を受験しなかった場合、単位はありません。試験の点数が60点に満たない場合、平常点を考慮することがある。		

履修上の注意・履修要件	授業に出席して、説明をきいて教科書をよく読んでノートをとってもらえば、管理会計の専門書が読めるようになります。教科書には要点しか書いてないので、説明のためにプリントを配布します。自分で教科書のどの部分のプリントか番号をつけて記録して整理してください。
実践的教育	
備考	私語・スマホ・居眠り・教室への出入り・飲食は厳禁。プリントはやむをえず欠席する場合は、友人に頼んでもらうなりしてください。2, 3回毎に廃棄します。教科書は必ず購入してよく読んでください。試験は教科書の内容が中心です。